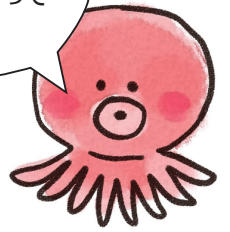


# 06

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

## 企画の工程をきめる

だんだん  
できあがって  
きた！



### 【今日の目標】

4月に話し合っただけの企画（ニュースレター05参照）をもとに、関係各所との調整結果をあわせ、企画内容のつめと、実現までの工程を話し合いました。皆さんの「なぜするのか？」を意識する姿勢が随所に見られました。

話し合いのテーマ：

「企画の工程表をつくる」

日程：平成27年5月15日（金）13：00～15：20

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：8名（住民8名）

### 【報告】企画1は、27名+小学校4校？

企画1の意図は、泉南市のタコ壺の歴史を知りながら、むかしの方法で「タコ壺をつくってもらう」ことで、市民に「泉南市が世界的なタコ壺のまち」であることを知ってもらうこと。

協力してくれる小学校はいまのところ4校に増え、出来上がるタコ壺は最大248個。埋蔵文化財センターでの行事参加者20名、プロジェクトメンバーの作品7個を加えると、275個（人）のタコ壺がこの取り組みで出来上がります。

この日の話し合いでは、小学校でタコ壺づくりをする際に、プロジェクトメンバーが「先生役」として教えに行くことになりました。

### 企画2は、雨天延期！

阪南大学との調整で、企画2の日程は、6/23、6/30、7/7が候補となりました。これらの日程に、タコ壺の設置（ヒモをつけて海中に投下）、タコ壺の引上げと試食を割り振って、漁協さんとの調整にはいることにしました。一般参加は募りませんが、昔の方法で作ったタコ壺で、タコが獲れるのか、その過程はひろく公表します。

### 原点回帰の企画3「せんなんタコあかり」

企画3は「泉南市は、世界的なタコ壺まちであり、今もおいしいタコの獲れるまちでもあることを、多

くの人に知ってもらうためのプログラム」。

これまでは、イルミネーションありきで話し合ってきましたが、じっくり話し合っているうちに「成果展を何のためにするのか、考えて話し合おう」との意見がでてきました。

最初は、「イルミネーションをどうすればいいのか？」を考えがちだった話が、次第に「この取り組みのことをうまく知ってもらうためには、どういう情報を見てもらえばいいのか？」という話に！皆さんで考えた企画だからこそです。

結局この日は、サンセットフェスタのステージに隣接した、サザンピア前の海岸（石敷の海岸）を、展示会場とする展示場所の選定まで。展示の内容は仕切りなおしてワークショップで考えてみることにしました。

アイデアの前提となるのは、夕陽のきれいな海岸線を会場にした展示であること、雨天は中止であること、サンセットフェスタはステージイベントで17：00～19：00、そのあとはイベント2本が控えていることです。

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です！

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL:072-483-6789 maibun@city.sennan.lg.jp

### 【ご案内と参加者の募集】

#### ワークショップ「成果展をつくる」開催！

企画3「プロジェクト成果展」は、「泉南市は、世界的なタコ壺まちであり、今もおいしいタコの獲れるまちでもあることを、多くの人に知ってもらうためのプログラム」。そのために必要なことを、2回のワークショップで話し合ってみます。

日程と内容----

7/17 10：00～12：00「アイデアをだしてまとめる」

7/31 10：00～12：00「具体的に作る」

\*参加申し込みは埋蔵文化財センターまで（483-6789）

【7/17までの宿題です】「どうすれば南市は、世界的なタコ壺まちであり、今もおいしいタコの獲れるまちでもあることをわかってもらえるか？」具体的な方法（見せ方）を考えてみてください！

\*意見のみの参加も大歓迎です。アイデアを事務局まで。

## 大学生のアイデアをもとに住民が考えた せんなんタコ壺プロジェクト 企画案

泉南市は、世界的なタコ壺のまち\*であり、おいしいタコの獲れるまち\*\*でもあります。にもかかわらず、それを知る市民も少なく、そのことを知ることのできる場と機会が皆無といっても過言ではありません。言い換えれば、泉南市は「まちの特徴（タコ壺、おいしいタコ）を活かしきれていない」ともいえます。

このプロジェクトは、プロジェクトの過程や、参加した市民が楽しむ様子を積極的に公開することで、今よりも多くの人に「泉南市＝世界的なタコ壺のまち＝おいしいタコの獲れるまち」であることを知ってもらうことを目的とします。これにより、泉南市が今以上に、多くの人にとって魅力あるまちとなるはずです。

### 企画1 「せんなん戎畑遺跡のタコ壺をつくる！」

「泉南市＝世界的なタコ壺のまち」であることを知ってもらうためのプログラム。学校教育と、生涯学習の場で実施します。発掘調査の成果をもとに、むかしと同じ方法でタコ壺をつくる参加体験型学習です。

主催：泉南市教育委員会（せんなんタコ壺プロジェクトメンバー）  
協力：市内小学校

### 「タコ壺作り」+ タコ壺の話

- 「まいぶんクラブ」 5/9・埋蔵文化財センター行事
- 雄信小学校 6年 5/19 出張授業
- 西信達小学校 6年 5/21 出張授業
- 樽井小学校 6年 5/26・出張授業
- 一丘小学校 6年 調整中・出張授業
- 漁に使うタコ壺製作  
プロジェクトメンバーのみ 5/7・5/25
- 「タコ壺焼き」各小学校 6月予定

### 企画2 「実験！昔のタコ壺でタコが獲れるか」

「泉南市＝おいしいタコの獲れるまち」であることを知ってもらうためのプログラム。企画1で作ったタコ壺でタコ壺漁が実施できるのか、地元漁協の協力を得て実験します。プラスチック製の現代のタコ壺も併用し、どちらが沢山獲れるのかも比較する予定です。

主催：泉南市教育委員会（せんなんタコ壺プロジェクトメンバー）  
協力：岡田浦漁業協同組合  
阪南大学和泉研究室

- 5/1 漁協さんへ相談
- 5/18 漁協さんへ協力の依頼
- 「タコ壺の設置」6/23・10：00～  
\*プロジェクトメンバーのみ  
(協力：岡田浦漁業協同組合)
- 「タコ壺の上げと試食」6/30 10：00～  
協力：岡田浦漁業協同組合  
阪南大学和泉研究室  
\*雨天の場合、7/7に順延

### 企画3 プロジェクト成果展「せんなんタコあかり」

泉南市は、世界的なタコ壺まちであり、今もおいしいタコの獲れるまちでもあることを、多くの人に知ってもらうためのプログラム。海の魅力を発信するイベントで、企画1・2の成果展示と、企画1で小学生が作ったタコ壺でイルミネーションを実施します。

主催：泉南市教育委員会（せんなんタコ壺プロジェクトメンバー）  
協力：SENNAN まちづくり市民会議

- 成果展をつくる①参加者募集  
7/17 10：00～12：00  
「アイデアをだしてまとめる」
- 成果展をつくる②参加者募集  
7/31 10：00～12：00  
「具体的に作る」
- この間、作業を随時実施
- 企画3「プロジェクト成果展」  
8/30（土）  
協力：企画1に参加した市民
- 企画3「プロジェクト成果展」  
2016.1以降  
会場：埋蔵文化財センター

この日開催の海を楽しむイベント「りんくう海道ブルーリズム」で展示。

\* 泉南市では、弥生時代から現代まで、数千年間にわたりタコ壺漁が生業のひとつと営まれてきました。なかでも、戎畑遺跡は、「タコ壺づくりの村」がみつかっており、タコ壺漁の歴史を知るうえで世界的な遺跡と言えます。このことから、泉南市は「世界的なタコ壺のまち」と言っても過言ではありません。それにもかかわらず、それを知る泉南市民は、ほとんどいません。

\*\* 泉南市でとれるタコは「やらこうて、うまい！」と昔から言われます。おススメの食べ方は、獲れたて、ゆでたてのタコの足を、マヨネーズをつけてがぶっとまるかじり。でも、このおいしさを味わったことのある市民は多くはありません。「やらこうて、うまい！泉ダコ」が、目の前の海でとれるにもかかわらず、他地域でとれるタコを食べているからです。

【大阪湾でのタコ壺漁】豊かな恵みを効率的に活用するための知恵から生まれた漁法と考えられます。海中に投下して、気の向いたときにタコ壺を引き上げにいけば、「おかず程度」のタコがいつでも獲れるからです。田畑を耕しながら、海でほかの魚をとりながら、タコをとることができるのです。今でこそカゴ漁が盛んになっていますが、暮らしに根付いた、伝統的な漁法と言えます。